

緊急支援カンパへのご協力を要請します！

**JR西労中国地域本部・同広島運輸分会の準備で、
広島県呉市の組合員宅へ支援物資を届け、現地を視察！**



広島呉道路が崩れ、ガードレールだけにその下の呉線・水尻駅付近は土砂で埋没



呉線広島駅構内は水没 留置車両はそのままだ



芸備線の第1三篠川橋梁が流出

「平成 30 年7月豪雨」で甚大な被害!

6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に襲った平成30年7月豪雨は全国に甚大な被害をもたらした。死者は14府県で214人（16日現在）、安否不明者は4県で18人となり、土砂崩れ、河川氾濫等を受けた地域ではインフラ復旧が進まず、生活再建のめどが立たない状況です。

JR総連加盟単組の組合員・家族・OB会員には現時点で死者・負傷者の報告はありませんが、広島県呉市などで自宅への浸水被害や、断水等により当初は生活が困難な状態が続いていました。

また、交通インフラへの被害も大きく、JR西日本では復旧に1カ月以上と見込まれている線区は、広島県を中心に岡山県や山口県などの10路線11区間。大動脈の山陽線は、広島の三原～海田市間（延長65^キ）で土砂流入や盛り土崩落が相次ぎ、復旧までに数カ月と見られています。通勤・通学の旅客輸送に大きな影響を与えることは勿論のこと、JR貨物は全国で1日あたり約9万トンを輸送していますが、その約3割が影響を受けています。

JR総連は7月15日、JR西労中国地域本部・同広島運輸分会の準備でJR西労中央本部と共に、呉市の組合員宅へ生活用水・飲料水等の支援物資を届けてきました。同時に、被災した鉄道施設を視察しました。

JR総連は、今後も関係機関と連絡を密にしながら、復旧・復興に全力を挙げると共に、緊急支援カンパを取り組みますので、組合員の皆様のご協力を要請します。

支援カンパは、組合員・家族・OB会員への支援は勿論のこと、「連合・愛のカンパ」や地域での取り組み支援等に活用させていただきます。